Shionogi Business Report

第143期 平成19年4月1日~平成20年3月31日





株主の皆さまへ



代表取締役会長 塩野 元三 代表取締役社長 手代木 功

株主の皆さまには、ますますご清栄の こととお慶び申し上げます。

当社の第143期(2007年度)の事業 概況をご報告申し上げるにあたり、この 間に株主の皆さまから賜りましたご協力、 ご支援に対しまして、厚く御礼申し上げます。

当期は、医療用医薬品事業を核として 長期的な飛躍を遂げるための胎動期間と 位置づけた第二次中期経営計画(2005年 4月~2010年3月)の折り返しの年度であり ました。第二次中期経営計画の最終的な 目標の達成のために非常に重要な期間 であるとの認識のもと、研究開発、製造、 販売の各部門において積極的な取り組 みを進めてまいりました。

研究開発面では、継続的に自社開発品を創製し、これを自社でグローバルに開発・販売することを目指して、研究開発体制の整備を進めるとともに、現在米国で進めている開発品について着実な開発ステージの進展を図りました。

また、製造面でも、グローバル展開に 対応できる品質・生産体制の構築を進め るとともに、一層の原価低減を図るため、 原材料等の調達の見直しや生産性の向上 を図ってまいりました。

国内の販売面におきましては、後発品の使用促進や医療費の包括化などの薬剤費抑制策の強化が図られ、販売競争も一段と激化する厳しい市場環境の中、高コレステロール血症治療薬「クレストール」を中心とした新製品へのリソースの集中や組織的な営業活動の強化を進めてまいりました。その結果、医療用医薬品の増収基調への転換を図ることができました。

業績面におきましては、医療用医薬品の売上の増加に加えて、クレストールを中心とした工業所有権等使用料収入が大きく拡大し、研究開発費や販売費の増加を吸収して、営業利益、経常利益、当期純利益とも増益となりました。

当期の期末配当金につきましては、1株当たり12円を実施させていただきます。これにより、1株当たり年間配当金は22円となります。

配当を中心とした株主還元につきましては、今後とも業績の拡大と共に安定的に向上させていく所存です。

このたび、本年4月1日をもちまして、 代表取締役会長に塩野元三が、また代表 取締役社長に手代木功がそれぞれ就任 いたしました。今後は、新しい経営体制 のもとで、第二次中期経営計画の目標 達成に注力すると共に、中長期的な成長 を目指してグローバル化に向けた対応を より積極的に推進してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、当社の 事業活動にご理解をいただき、今後とも 一層のご支援を賜りますようお願い申し 上げます。

代表取締役会長 - 極野 え 三 代表取締役社長 **手代木 ェカ**

シオノギの基本方針

「常に人々の健康を守るために必要な最もよい薬を提供する」

シオノギの行動方針 シオノギの基本方針(シオノギの心)を、具現化するためのものです

患者・家族の方々のQOL向上を実現するために、 ミッション…… 患者・家族・医療従事者の方々により一層満足度の高い 医薬品をお届けする

私たちは基本方針に掲げる「常に人々の健康を守るために必要な最もよい薬を提供する」という理念に基づき、「患者・家族の方々のQOL向上を実現するために、患者・家族・医療従事者の方々により一層満足度の高い医薬品をお届けする」ことをミッションとし、以下の活動を通じてその具現化に専念します。

独創的な医薬品を創製し、必要としている人々に一刻も早くお届けします。

必要としている人々の声を速やかに製品に反映し、高い品質の医薬品を、安定的、経済的に製造・供給します。

適正使用に必要な情報を適時的確に提供し、医薬品の有用性をますます高めます。

ビジョン 存在感のある強いシオノギ 私たち自身がやりがい、誇り、夢の持てるシオノギ

私たちは、私たちのミッション実現のため、世界中で患者・家族・医療従事者の方々や社会に認められる事業展開を行なう「存在感のある強いシオノギ」であるとともに、「私たち自身がやりがい、誇り、夢の持てるシオノギ」であることを目指し、第2次中期経営計画を達成します。

バリュー …… 顧客志向、信頼、プロフェッショナル、現場重視、個の尊重

私たちは、私たちのミッション,ビジョンを実現するために、上記の5つの点を最も重要な行動規範とすることを決意しました。

この5つの誓い(シオノギバリュー)を、高い倫理観をもって実行することにより、人々の共感を得る会社でありつづけたいと思います。

経営戦略

当社グループは、第二次中期経営計画におきまして、以下のテーマを中心に、医療用医薬品事業を 核として長期的な発展を遂げるための施策を積極的に進めております。

- 研究開発活動におきましては、グローバルに通用する新薬を継続的に創製し開発するための体制を整備してまいります。そのため、現在開発中のものに加え、国際競争力を持った開発品の継続的な 創出と、日米欧3極同時開発に対応できる組織体制の整備・人材の育成、戦略的なアライアンスに 注力いたします。
- 営業活動におきましては、新製品へリソースを集中しシェア拡大に努めるとともに、がん疼痛からの解放・QOLの改善に向けての活動を強化してまいります。
- ●将来の飛躍に向けて、創薬シーズの探索の強化や積極的なインライセンス、海外展開のための体制整備に加え、製造、研究開発への設備投資など、今後3年間で600億円超の戦略的な投資を行っていく予定です。

今後の中長期的な成長にとって、医療用医薬品の開発を核としたグローバル化の展開は最重要課題であると認識しておりますが、こうした活動を支えていくためには、国内の収益体制をより万全なものとしていくことも重要な課題であります。特に国内の営業活動におきましては、「クレストール」や2008年度以降に順次発売を見込んでおります「イルベタン」「塩酸デュロキセチン(一般名)」等の新製品へリソースを集中し販売シェアの拡大に努め、また、製造面や管理業務面ではグローバル対応能力の向上とともに一層の生産性の向上や効率化を進め、研究所新棟の建設などの戦略的な投資も引き続き積極的に進めていく予定です。

以上の通り、第二次中期経営計画の遂行を通じて、当社の基本方針の具現化を図り、製薬企業と しての存在感の一層の向上に努めてまいります。

なお、目標とする経営指標は以下のとおりです。

2009年度において 連結売上高 2,700億円

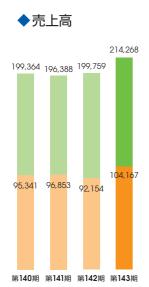
連結営業利益……800億円

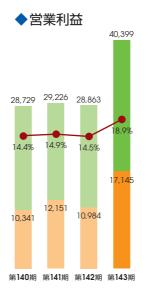
連結当期純利益……480億円

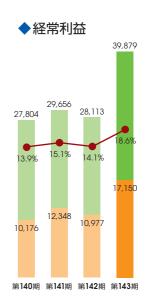
利益配分に関する基本方針

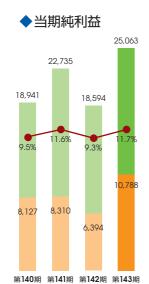
当社は、中長期的な視点での企業価値増大を図るため、事業投資を積極的に行うとともに、配当につきましては、各期の業績に応じた配分を基本におきながら、これを安定的に向上させることを目指しております。内部留保資金につきましては、新製品の開発に関する研究開発投資等、将来の事業展開に向けた資金需要を中心として充当してまいります。なお、今後の配当性向につきましては、2009年度の指標として35%(連結配当性向)を目標といたします。

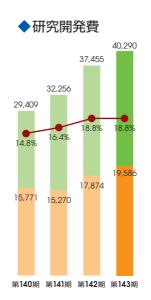
連結財務指標

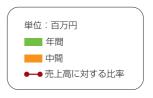












当期の概況

販売の状況について

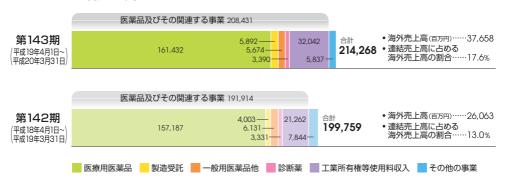
当期の連結の業績は、売上高は2.142億6千8百万円で前期に比べ7.3%の増加となりました。

医薬品及びその関連する事業では、医療用医薬品の売上が、「クレストール」の順調な市場シェア拡大や、「クラリチン」やがん疼痛治療薬の拡大などにより増収となり、また、アストラゼネカ社による「クレストール」の海外での販売の拡大により工業所有権等使用料収入が大きく増加したほか、子会社も含めた製造受託事業が拡大しました。

この結果、「医薬品及びその関連する事業」全体の売上高は、2,084億3千1百万円で、前期に比べ 8.6%の増加となりました。

その他の事業の売上高は、58億3千7百万円で、前期比25.6%の減少となりました。これは、シオノギエンジニアリングサービス(株)において工事受託の減少があったことによるものです。

◆セグメント別売上高 (単位: 百万円)



利益の状況について

利益面におきましては、医療用医薬品の売上や工業所有権等使用料収入が増加したことにより売上総利益が拡大し、研究開発費や販売費の増加を吸収して、営業利益は403億9千9百万円で前期に比べて40.0%の増、経常利益も398億7千9百万円で前期に比べ41.9%の増となりました。この結果、当期純利益は前期に比べ34.8%増の250億6千3百万円となりました。

研究開発の状況について

当期の研究開発では、国内においては、アレルギー性疾患治療薬「クラリチン」等の上市を行い、うつ治療薬(一般名:塩酸デュロキセチン)の製造販売承認申請を本年1月に行いました。さらには、高血圧症治療薬「イルベタン」(一般名:イルベサルタン)も本年4月に製造販売承認を取得し近く発売の予定です。また、海外におきましては、シオノギUSA、INC.を拠点として肥満症治療薬、アトピー性皮膚炎治療薬などを、シオノギGSKにてHIV感染症治療薬の開発を、積極的に進めております。

なお、グローバルに競争力のある研究環境を整備するために、新しい中核施設となる研究所新棟を 大阪府豊中市に建設することを、本年1月に決定しております。

こうした活動の結果、当期における当社グループ全体の研究開発費は402億9千万円となり、売上高に対する比率は18.8%となりました。

◆新製品

 2008年1月発売
 クラリチン®ドライシロップ1%
 アレルギー性疾患治療薬

 2008年2月発売
 パイロン®ハイ
 総合かぜ薬

 2008年2月発売
 アラポート® TARC
 体外診断用医薬品、Th2ケモカイン・TARCキット

◆新薬開発状況 (平成20	0年5月現在)				- ステージ -		
開発No.	適応症	開発地域	フェーズ I	フェーズⅡ	フェーズⅢ	申請	承認
SR47436	高血圧症	日本					2008.4
S-7701	特発性肺線維症	日本				2007.3	
LY248686	うつ	日本				2008.1	
LY248686	糖尿病性神経因性疼痛	日本					
S-4661	各種細菌感染症(小児)	日本					
S-013420	細菌感染症	日本					
NS75B	前立腺肥大症	日本					
NS75A	子宮筋腫	日本					
S-777469	アトピー性皮膚炎	日本					
6777466	710 江汉府火	米国					
S-021812	インフルエンザ感染症	日本					
S-2367	肥満症	米国					
S-0139	脳血管障害	日本					
3-0139	加皿目PP古	欧州					
S-888711	血小板減少症	日本					
S-555739	アレルギー疾患	日本					
S-349572/S-265744/ S-247303	HIV感染症	米国					

設備投資について

当期における当社グループ全体の設備投資につきましては、新製品の生産拡大などを目的とした製造設備の増強や研究設備の拡充などを中心として積極的に行っており、総額131億円となっております。

連結 連結損益計算書

	第143期 (平成19年4月1日~) 平成20年3月31日)	第142期 (平成18年4月1日~) 平成19年3月31日)	増減額
科目	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
売上高	214,268	199,759	14,509
売上原価	68,594	67,542	1,052
	145,674	132,216	13,458
販売費及び一般管理費	105,275	103,353	1,922
(うち研究開発費)	(40,290)	(37,455)	(2,835)
営業利益	40,399	28,863	11,536
営業外収益	3,530	3,368	162
受取利息	1,347	1,141	206
受取配当金	1,045	661	384
不動産賃貸料	593	597	△ 4
その他	543	968	△ 425
営業外費用	4,050	4,118	△ 68
支払利息	83	95	△ 12
寄付金	1,374	1,272	102
たな卸資産処分損	869	1,057	△ 188
固定資産処分損	880	558	322
その他	842	1,134	△ 292
経常利益	39,879	28,113	11,766
——————————— 特別利益	1,319	3,610	△ 2,291
投資有価証券交換益	1,043	2,765	△ 1,722
投資有価証券売却益	276	186	90
過年度共同開発費戻入益	_	657	△ 657
特別損失	1,236	_	1,236
たな卸資産処分損	796	_	796
投資有価証券評価損	414	_	414
投資有価証券売却損	25	_	25
税金等調整前当期純利益	39,962	31,723	8,239
法人税、住民税及び事業税	11,765	8,702	3,063
法人税等調整額	3,106	4,387	△ 1,281
少数株主利益 (△)	△ 26	△ 39	13
当期純利益	25,063	18,594	6,469

連結 連結貸借対照表

医帕貝旧对流纹			
	第143期 (平成20年3月31日現在)	第142期 (平成19年3月31日現在)	増減額
科目	金 額 (百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
【資産の部】			
流動資産	194,963	208,890	△ 13,927
固定資産	218,739	220,679	△ 1,940
有形固定資産	70,377	67,815	2,562
無形固定資産	5,618	6,135	△ 517
投資その他の資産	142,744	146,728	△ 3,984
資産合計	413,703	429,569	△ 15,866
【負債の部】			
流動負債	42,443	47,535	△ 5,092
固定負債 	29,024	36,281	△ 7,257
負債合計	71,468	83,817	△ 12,349
【純資産の部】			
株主資本	320,038	311,289	8,749
資本金	21,279	21,279	0
資本剰余金	20,227	20,227	0
利益剰余金	297,811	278,871	18,940
自己株式	△ 19,280	△ 9,088	△ 10,192
評価·換算差額等	21,889	34,178	△ 12,289
その他有価証券評価差額金	22,068	34,262	△ 12,194
為替換算調整勘定	△ 178	△ 83	△ 95
少数株主持分	307	283	24
純資産合計	342,235	345,752	△ 3,517
負債純資産合計	413,703	429,569	△ 15,866
(注) 有形固定資産の減価償却累計額	164,529百万円	161,459百万円	

連結キャッシュ・フロー計算書

	第143期 (平成19年4月1日~) 平成20年3月31日)	第142期 (平成18年4月1日~) (平成19年3月31日)
科目	金額(百万円)	金額(百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,618	14,115
税金等調整前当期純利益	39,962	31,723
減価償却費	10,665	8,797
資産·負債増減等	△ 23,423	△ 12,983
法人税等の支払額	△ 11,586	△ 13,423
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,335	△ 8,418
定期預金の払戻・預入	9,714	6,242
有形固定資産の取得・売却	△ 11,638	△ 11,382
投資有価証券の取得・売却等	△ 2,324	△ 1,860
資金貸付けの回収による収入	312	3
その他	△ 1,399	△ 1,420
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 17,123	△ 7,180
配当金の支払額	△ 6,114	△ 6,122
自己株式の取得による支出	△ 10,204	△ 337
借入・返済等	△ 804	△ 720
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 95	△ 113
現金及び現金同等物の増減額	△ 6,936	△ 1,596
現金及び現金同等物の期首残高	74,546	76,142
現金及び現金同等物の期末残高	67,609	74,546

キャッシュ・フローの状況

当期の「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、税金等調整前当期純利益、減価償却費の増加や、法人税等の支払額の減少などがあり、前期に比べ15億3百万円多い156億1千8百万円のプラスとなりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、製造設備への投資などを中心に、53億3千5百万円のマイナスとなりました。

また、「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、配当金の支払や自己株式の取得などにより、171億2 千3百万円のマイナスとなりました。

この結果、当期末の「現金及び現金同等物の期末残高」は、前期末に比べ69億3千7百万円少ない676億9百万円となりました。

次期の見通し

主力の医療用医薬品市場におきましては、本年4月に業界平均5.2%の薬価基準の引き下げが実施され、より一層厳しい販売環境に推移するものと予想されますが、「クレストール」や本年発売予定の「イルベタン」を中心とした販売の拡大、また工業所有権等使用料収入の増加も引き続き期待されることから、全体としましても増収を見込んでおります。

利益面では、研究開発費などの費用の増加が予想されますが、販売の増加や工業所有権等使用料収入の増加により吸収し、営業利益、経常利益、当期純利益ともに増益を見込んでおります。

◆次期の見通し

連結		
売 上 高 営業利益 経常利益 当期純利益	480億円 (前期比 480億円 (前期比)	7.8%増) 18.8%増) 20.4%増) 19.7%増)
単体		
売 上 高 営業利益 経常利益 当期純利益	445億円 (前期比)	9.5%増) 22.3%増) 23.5%増) 29.0%増)

単体 損益計算書

第143期 (平成19年4月1日~) (平成20年3月31日)

科目	金額(百万円)
売上高 売上原価	201,002 61,078
売上総利益	139,924
販売費及び一般管理費 (うち研究開発費)	103,527 (40,243)
営業利益	36,397
営業外収益 営業外費用	5,241 4,397
経常利益	37,240
特別利益 特別損失	1,319 2,428
税引前当期純利益	36,132
法人税、住民税及び事業税 法人税等調整額	10,740 2,913
当期純利益	22,479

単体 貸借対照表

第143期 (平成20年3月31日現在)

	(干成20年3月31日現在)
科 目	金 額 (百万円)
【資産の部】	
流動資産	191,673
固定資産	208,480
有形固定資産	58,547
無形固定資産	5,252
投資その他の資産	144,680
資産合計	400,154
【負債の部】	
流動負債	38,667
固定負債	27,170
	· ·
負債合計	65,837
【純資産の部】	
株主資本	312,248
資本金	21,279
資本剰余金	20,227
利益剰余金	290,021
自己株式	△ 19,280
評価・換算差額等	22,068
純資産合計	334,316
負債純資産合計	400,154

⁽注) 有形固定資産の減価償却累計額 156,176百万円

「ミュージックフェア」が放送回数2200回を迎えました

当社提供の音楽番組「ミュージックフェア」(フジテレビ系列17局ネット 毎週土曜日18:00~18:30 放送)が1964年8月にスタートして以来、今年3月15日の放送で2200回を迎えました。

これを記念して2月21日に東京・国際フォーラムにおいて記念公開録画が行なわれ、番組出 演歴代1位の森山良子さん(104回)をはじめ、番組にゆかりのあるアーティストの方々にご出演 いただきました。

これからも「最高の音響効果、照明、セット、そしてすばらしい雰囲気の中で、一流の歌手による 素敵な歌をじっくりと聴いていただく」ことをモットーに、常に変わらぬ姿勢で番組を提供していきます。



細胞科学研究財団が設立20周年を迎えました

財団法人細胞科学研究財団が、今年の3月で設立20周年を迎え、記念講演会および祝賀会が開催されました。

当財団は、塩野義製薬の創立110年を記念し、細胞科学に関する研究の助成および研究者の育成、国際交流の推進を行い、21世紀に向けて真の国際水準に達する生命科学の研究の振興を図るため昭和63年に設立されたものです。

今後も、生命科学分野における細胞レベルの研究および若手研究者の育成に貢献してまいります。



財団法人細胞科学研究財団のホームページ: http://www.shionogi.co.jp/zaidan/

「シオノギ創薬イノベーションセンター」を開設しました

薬イノベーションセンター | を5月30日に開設しました。 この共同研究施設は、平成18年10月、北海道 大学内へ当社所有の研究施設を建設し、その共同 使用に関して基本合意書を締結したもので、産学 連携の理念に則った両者の研究交流の促進を目的

「シオノギ創薬イノベーションセンター」の開設に より、共同研究への積極的な取り組みを通じて、 北海道大学の持つ糖鎖基盤技術やタンパク質構 告解析技術などの創薬基盤技術の改良が促進され、

としています。



さらなる創薬シーズの発見が期待できるとともに、グローバルに通用する創薬基盤技術を強化し、 研究・開発の効率化および成功確率の向上をすすめてまいります。

新発売 総合かぜ薬 「パイロンハイ」 NEW

新処方の総合かぜ薬「パイロンハイ」が2月 19日に発売されました。

「パイロンハイ」は、解熱鎮痛成分イソプロピ ルアンチピリン(IPA)と、2つの生薬成分を配合 した「ハイブリッド処方」。かぜの症状の中でも、 特に発熱、せき、たん、頭痛、のどの痛みなどに よく効く総合かぜ薬です。



解熱鎮痛成分のIPAとアセトアミノフェンが直接、熱中枢に作用して、発熱、頭痛、のどの 痛みを緩和し、生薬成分のカンゾウとオウヒが、のどの炎症を抑え、たんを出しやすくします。

販売は、各薬局、薬店、ドラッグストアでの店頭を中心に行い、お客様にわかりやすい情報提 供を行うことで、安全にご使用いただき、つらいかぜの症状でお悩みの方にご満足いただけるよう 貢献してまいります。

◆株式の状況

発行可能株式総数 1,000,000,000株発行済株式の総数 351,136,165株株主数 21,399名

●株主1人当たり平均持株数16,409株

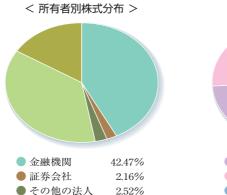
●大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
1 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	22,542	6.42
2 住友生命保険相互会社	18,604	5.30
3 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	17,460	4.97
4 ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	16,845	4.80
5 塩野義製薬株式会社	16,013	4.56
6 日本生命保険相互会社	13,138	3.74
7 ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	11,815	3.36
8 ジェーピーモルガンチェース オッペンハイマー ファンズ ジャスデック アカウント	9,723	2.77
9 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (住友信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	9,485	2.70
10 日本興亜損害保険株式会社	7,538	2.15

◆株式の分布状況

● 外国法人等

●個人その他





< 所有数別株式分布 >

◆株価および株式売買高の推移

36.70%

16.15%



会社の概要 (平成20年3月31日現在)

商 号 塩野義製薬株式会社

(SHIONOGI & CO., LTD.)

創 業 1878年(明治11年)3月17日

会社設立 1919年(大正8年)6月5日

決 算 期 3月31日

事業内容 医薬品、診断薬などの製造・販売

資 本 金 212億79百万円

従業員数 4,233名



http://www.shionogi.co.jp/

役員 (平成20年6月27日現在)

取締役

代表取締役 塩野 元三

取締役 宮本 絜

取締役 戸梶幸夫

取締役 三野泰宏

監 査 役

(注) 監査役 永田武全 及び 監査役 横山進一 は、 会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

執行役員

戸梶 幸夫 専務執行役員 専務執行役員 三野 泰宏 常務執行役員 福田卓雄 久米 龍一 常務執行役員 近藤 裕郷 執行役員 前田 均 執行役員 執行役員 納田 敬一朗 澤田拓子 執行役員 真下重信 執行役員

社

〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目1番8号 Tel 06-6202-2161

支 店

東京支店 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2丁目17番5号

シオノギ渋谷ビル

Tel 03-3406-8111

〒460-0004 名古屋市中区新栄町2丁目9番地 名古屋支店

スカイオアシス栄

Tel 052-957-8271 支 店

〒810-0072 福岡市中央区長浜1丁目1番35号

新KBCビル

Tel 092-737-7750

支 店 〒064-0807 札幌市中央区南七条西1丁目13番地

第3弘安ビル

Tel 011-530-0360

研究所

中央研究所

〒553-0002 大阪市福島区鷺州5丁目12番4号 Tel 06-6458-5861 〒561-0825 豊中市二葉町3丁目1番1号

新薬研究所

Tel 06-6331-8081

〒566-0022 摂津市三島2丁目5番1号

医科学研究所 Tel 06-6382-2612

油日ラボラトリーズ 〒520-3423 甲賀市甲賀町五反田1405番地

Tel 0748-88-3281

場 I

摂 津 T 場

〒566-0022 摂津市三島2丁目5番1号

Tel 06-6381-7341

金ケ崎工場 〒029-4503 岩手県胆沢郡金ケ崎町西根森山7番地

Tel 0197-44-5121

事 業 所

杭瀬事業所

〒660-0813 尼崎市杭瀬寺島2丁目1番3号 Tel 06-6401-1221

物流センター

シオノギ物流センター

〒566-0022 摂津市三島2丁目5番1号

Tel 06-6381-7342

シオノギ東京物流センター 〒270-0233 野田市船形字上原壱1513番地

> 中央運輸株式会社 野田営業所内 Tel 04-7127-3000

海 外 (事業所·関係会社)

Shionogi & Co., Ltd.

Taipei Office

4F, No. 2, Sec. 2, Nanking East Road

Taipei 10457, Taiwan

Tel +886-2-2551-6336

Shionogi & Co., Ltd.

Shanghai Office

Far East International Plaza 3F, 306A

No. 319 Xian Xia Road Shanghai 200051

People's Republic of China

Tel +86-21-6235-1311

Taiwan Shionogi & Co., Ltd.

4F, No. 2, Sec. 2, Nanking East Road

Taipei 10457, Taiwan

Tel +886-2-2551-6336

Shionogi USA, Inc.

100 Campus Drive, Florham Park

NJ 07932, U.S.A.

Tel +1-973-966-6900

株主メモ

◇ 決 算 期 3月31日

◇定時株主総会 6月

同総会権利行使 株主確定日 3月31日

◇期末配当金受領

株主確定日 3月31日

◇ 単 元 株 式 数 1,000株

◇ 公告掲載方法 電子公告

当社インターネットホームページ (http://www.shionogi.co.jp/) に掲載しています。

◇ 上場証券取引所 大阪・東京

◇証券コード 4507

◇ 株主名簿管理人 住友信託銀行株式会社

大阪市中央区北浜4丁目5番33号

同 事務取扱場所 住友信託銀行株式会社 証券代行部

大阪市中央区北浜4丁目5番33号

同 郵便物送付先 - 住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 東京都府中市日鋼町1番10 〒183-8701

電話:(住所変更等用紙のご請求) 0120-175-417 (その他のご照会) 0120-176-417

同 取次所 住友信託銀行株式会社 全国各支店

◆ 各種諸届について

住所、届出印、法人株主の代表者、役職名、氏名、商号、配当金の振込口座の変更、および単元 未満株式の買取請求は、住友信託銀行 全国各支店にて所定の用紙でお申し込みください。 ただし、証券保管振替機構に株券を預託されている場合には、お取引の証券会社にお申し出 ください。

◆ 単元未満株式の買取について

単元未満株式(1株~999株で、登録株(名簿上の株式)を含む)の1株当たりの買取価格は、 住友信託銀行の窓口にご請求があった日の大阪証券取引所の最終価格となります。

- *ご請求日に大阪証券取引所で売買取引がなかったときは、東京証券取引所の最終株価となります。
- *また、買取代金から予め定めております手数料を徴収させていただきますのでご了承願います。

◆ 株券を喪失されたときの諸手続きについて

お手持の株券を盗難、紛失、焼失などにより喪失された場合の諸手続きは、上記株主名簿管理 人にてお受けいたします。

